

## 水溶性ハイドロコトシ注射液 100mg 水溶性ハイドロコトシ注射液 500mg

### 【この薬は？】

販売名	水溶性ハイドロコトシ 注射液 100mg HYDROCORTONE Injection 100mg	水溶性ハイドロコトシ 注射液 500mg HYDROCORTONE Injection 500mg
一般名	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム Hydrocortisone Sodium Phosphate	
含有量 (1バイアル中)	134.2mg (ヒドロコルチゾンとして 100mg)	671mg (ヒドロコルチゾンとして 500mg)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、炎症やアレルギー症状を改善、免疫の抑制などさまざまな働きがあり、多くの病気に用いられます。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の目的で、医療機関で使用されます。

**外科的ショックおよびショック様状態における救急、または術中・術後のショック**

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去に水溶性ハイドロコトニ注射液に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・デスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）を夜間多尿による夜間頻尿に使用している男性

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・急性心筋梗塞をおこした人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・糖尿病の人
- ・結核にかかっている人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・骨粗鬆症の人
- ・精神病の人
- ・後囊白内障の人
- ・緑内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・うっ血性心不全の人
- ・甲状腺機能低下のある人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人
- ・腎不全の人
- ・肝硬変の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [デスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）（男性における夜間多尿による夜間頻尿）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### 〔医療機関で使用される場合〕

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、ヒドロコルチゾンとして成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

一回量	2～20mL (ヒドロコルチゾンとして 100～1,000mg)
注射する回数	1回または数回

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を連用した後、急に使用を中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに飲んでください。
- ・この薬を長期あるいは大量に使用している間、または使用中止後6ヵ月以内は、免疫機能が低下していることがありますので、生ワクチン〔麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふく風邪、水痘（みずぼうそう）、BCG など〕の接種を受けないでください。
- ・水痘または麻疹に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・この薬の連用により眼圧亢進、緑内障、後嚢白内障になることがあるので、定期的に検査を行うことがあります。
- ・リンパ系腫瘍のある人にヒドロコルチゾン製剤（注射剤）を使用した際に腫瘍崩壊症候群（意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ）があらわれたとの報告があるので、これらの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人は、この薬の使用後や使用終了後に継続して血液検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



重大な副作用	主な自覚症状
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょうのぞうあく	発熱、寒気、体がだるい  [B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあらわれる場合] 体がだるい、吐き気、嘔吐(おうと)、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる
糖尿病 とうにょうびょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる(赤色～茶褐色ときに黒色)、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
精神変調 せいしんへんちよう	普段とは違う精神状態、幻覚、妄想、興奮抑うつ
うつ状態 うつじょうたい	気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、食欲不振、体がだるい
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	骨折しやすい、腰・背中の痛み、手足の痛み、背が低くなった、背中が丸くなった
大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死 だいたいこつおよびじょうわんこつなどのこつとうむきんせいえし	脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み
ミオパシー ミオパシー	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
緑内障 りよくないしょう	目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる
後嚢白内障 こうのうはくないしょう	視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失
腫瘍崩壊症候群 しゅようほうかいしょうこうぐん	意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、体がだるい、体がかゆくなる、冷汗が出る、体重が減る、骨折しやすい、背が低くなった

部位	自覚症状
頭部	意識の低下、意識の消失、普段とは違う精神状態、幻覚、妄想、興奮抑うつ、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、めまい
顔面	顔面蒼白（そうはく）
眼	白目が黄色くなる、目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
口や喉	吐き気、嘔吐、喉が渇く、水を多く飲む、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）
胸部	息苦しい、息切れ
腹部	食欲不振、上腹部痛、腹痛、胃がむかむかする
背中	腰・背中痛み、背中が丸くなった
手・足	手足が冷たくなる、手足の痛み、脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
便	黒い便が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が増える、尿量が減る

## 【この薬の形は？】

販売名	水溶性ヒドロコトン 注射液 100mg	水溶性ヒドロコトン 注射液 500mg
性状	無色～淡黄色の澄明の液で、においはない	
形状		

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	水溶性ヒドロコトン 注射液 100mg	水溶性ヒドロコトン 注射液 500mg
有効成分	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム	
添加剤	クレアチニン、亜硫酸水素ナトリウム、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、クエン酸ナトリウム水和物、水酸化ナトリウム	

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL (フリーダイヤル)：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）